

松川町農業協同組合（JA松川町）



代表理事組合長	渡 辺 藤 三	役 員 数	19名
所 在 地	〒960-12 福島市松川町 浅川字神前11 ☎0245-48-7641	理 事	15名（うち常勤 1名）
設 立 年 月 日	昭和37年 8 月11日	監 事	4 名
		職 員 数	52名（男33名 女19名）
		臨 時	4 名

I 地 区 の 概 況

当地区は、福島市の南端に位置し、南は安達町に、東は阿武隈峡を隔てて立子山と飯野町に、北は旧福島市、旧信夫村に、西は土湯温泉町に接している。昭和30年に松川町、水原村、金谷川村が合併して松川町が誕生した。同年に下川崎村を合併したが、32年、33年に下川崎の一部が安達村に編入した。41年に福島市に合併して現在に至っている。

交通はJR東北本線と国道4号線が南北に走り金谷川駅と松川駅がある。本所のある金谷川

地区まで市の中心部から10kmほどの距離である。

地区の南部を水原川が東流して阿武隈川に流れる。西の奥羽山脈から派生する丘陵地帯の谷底や河川の流域に水田が開けている。台地の耕地には桑園が多いが最近は放任園が目立つようになった。

金谷川駅の東側の台地に福島大学キャンパスが、また北部の国道4号線の東側には県立医科大学のキャンパスと付属病院が旧市街地から移転してきた。

Ⅱ 50年のあゆみ

1 地区農業の変遷

地区の農業は、水田稲作と養蚕を中心とするものであった。現在、繭価格の低迷により養蚕は往時の面影を失い、桑園は放任され雑木林化するの散見されるようになった。

戦後の耕地は1戸平均1.05haのうち水田は43a、普通畑37a、桑園22a、たばこ3aという耕作で、普通畑の中心は麦作であり、畑作地帯の典型的な農業であった。

畜産はあまり振るわなかった。

43年農業構造改善事業による水田の基盤整備と果樹園の造成に着手した。その後、高速道路

関連県営圃場整備事業に45年から取り組み、現在地区内の水田の90%が基盤整備され、作業の機械化一貫体系化が図られている。

51年に果樹新品種モデル園設置事業によりもも園3haの造成。54・55年には落葉果樹高効率生産団地育成事業の導入でりんごわい化栽培に拍車がかかり、58年に8.5haの平石わい化団地が誕生、20haのりんごわい化栽培が形成された。

47年頃かららのハウス栽培が始まり、48年にそさい部会が結成された。また58年から水原開パで夏大根が栽培され好評を博した。60年になり気候風土を生かした花栽培がはじまった。

図表1 地区農業の変遷（農業センサスより）

年次		25	35	40	50	60	2
項目	総農家戸数(戸)	1,653	1,490	1,444	1,327	1,227	985
	うち専業(戸)	923	575	195	102	98	79
	I種兼業(戸)	464	599	733	471	262	122
	II種兼業(戸)	266	316	516	754	867	784
経営耕地面積(ha)		1,687	1,626	1,574	1,526	1,357	1,190
	うち田(ha)	712	658	664	687	667	638
	畑(ha)	615	710	650	359	272	237
	樹園地(ha)	359	258	259	483	416	315
収 穫 面 積	稲(ha)	673	645	653	624	613	567
	麦類(ha)	439	463	329	15	3	1
	野菜類(ha)	115	123	73	72	64	58
	果実類(ha)	4	21	18	38	44	48
	飼料用作物(ha)		93		53	66	32
	たばこ(ha)	44	45	44	15	8	6
飼 育 頭 数	乳用牛(頭)	146	478	696	261	206	208
	肉用牛(頭)	590	483	416	271	297	174
	豚(頭)	46	107	252	87	353	302
	にわとり(千羽)	4	10	14	6	10	10
	ブロイラー(千羽)				20	80	55

(注) 25年は旧下川崎村を含む ブロイラーの50年以降は出荷羽数

45年、水原開拓パイロット事業が導入され、りんご園46ha、桑園142haが造成されたが、自然条件が厳しく野鼠・野兎の被害も甚大で折角の耕地が荒野になりつつある。

2 経営の推移

農協設立直後はまずまずの経営であったが、間もなくドッジラインによる安定恐慌と放漫経営等により経営が困難に陥った。再建整備法と整備特別措置法の適用を受けるが好転せず、昭和37年の合併時点では3農協の欠損金の合計は1000万円を超えていた。

合併後に、更生特別措置要綱に基づく指定を

受けて再建に取り組んだが、40年に本所が失火により半焼する等の災難もあったが、残念ながら執行体制がごたごたと安定せず、また合併前の経営不振による信用失墜の後遺症等もあって、欠損金解消まで10年を要した。

農協の経営全般が軌道にのった合併10年の頃から、農協の新しい胎動が始まった。

農業青年クラブを中心とする各種の活動が発見し、農協の事業が活性化した。各種の部会、組織が結成され多彩な事業・行事が実施された。また、このような活動に呼応して職員体制を強化し、営農と生活の拠点となる農協施設の設置と充実に努め、一層の活動の充実と多彩化を図ってきた。

図表2 主な勘定と事業の推移

(単位：千円、共済：百万円)

年度		24	30	37 (合併年度)	40	50	60	5
項目								
正組合員戸数(戸)		1,154	967	828	1,139	1,061	1,035	974
准組合員戸数(戸)		5		14	56	224	163	340
資 産	余 裕 金	3,336	3,504	6,088	80,939	871,559	2,841,322	6,646,249
	貸 出 金	2,196	10,220	26,075	91,539	421,685	819,627	1,159,346
	その他流動資産	3,191	9,393	37,595	52,100	227,203	451,383	410,145
	固 定 資 産	1,413	6,048	8,240	12,422	91,865	265,124	382,099
	外 部 出 資	192	2,020	3,709	5,555	15,407	51,166	82,951
負 債 及 び 資 本	貯 金	7,737	14,745	56,509	153,149	1,256,293	3,697,189	7,592,777
	借 入 金	8,564	7,653	9,443	50,610	90,624	70,993	5,476
	そ の 他 負 債		4,366	15,031	27,527	220,839	429,718	676,511
	出 資 金	444	5,986	11,264	20,642	56,228	179,537	288,907
	積 立 金	11	73			2,053	30,353	113,500
主 な 事 業 実 績	剰 余 金	-134	-1,638	-10,540	-9,374	1,682	20,832	3,619
	販 売 取 扱 高	37,077	63,481	89,784	166,664	454,243	810,179	480,803
	うち 米 穀		52,061	73,360	141,726	404,195	547,826	63,273
	青 果 物		2,024	4,087	7,416	35,889	251,458	311,414
	畜 産 物			6,738	2,077	10,650	5,324	41,724
購 買 取 扱 高	13,676	21,537	64,600	116,369	430,382	775,291	1,361,195	
	うち 生産資材		19,095	47,591	72,222	260,655	454,584	554,124
	生活資材		2,442	17,009	44,147	169,727	320,707	807,071
	長期共済保有高			105	567	7,341	43,189	73,781

(注) 合併以前の年度は合併参加農協の合計

取り巻く環境は大きく変化し、兼業化、高齢化、広域化、国際化が一層深化して、農協の事業活動についても新たな展開が求められるようになった。

3 設立と合併

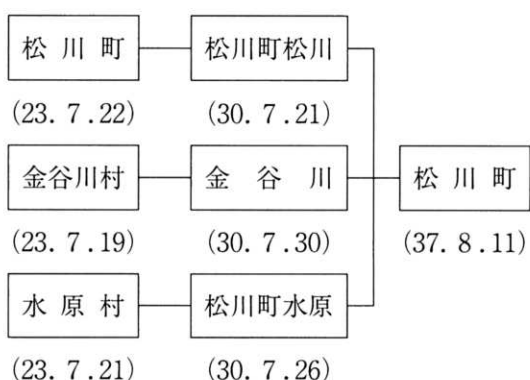
(1) 農業協同組合の設立

J A 松川町の前身は、昭和23年にそれぞれの農業会の資産を継承して設立された松川町農業協同組合、水原村農業協同組合、金谷川村農業協同組合と下川崎村農業協同組合である。

(2) 町内 3 農協の合併

昭和36年農協合併助成法が公布されて、町内農協の合併が提案され町からの500万円の助成金を得て、翌37年 8 月に松川町農協、水原農協、金谷川農協の合併が実現し、新「松川町農業協同組合」が設立した。

図表 3 合併等の経緯



図表 4 合併参加農協の概要

組 合 名	組合長名	組合員数	役員数	職員数
松川町松川	丹治 五郎	207	13	5
金谷川	斎藤 勇喜	477	15	11
松川町水原	茂木 平三	293	17	3

(3) 下川崎農協の分割統合

30年 3 月20日に松川町、水原村、金谷川村が町村合併した後下川崎村を同月31日に合併した。しかし、32・33年に旧下川崎村の一部が安達村に分町編入したために、下川崎農協は2町村にまたがる農協となった。40年の安達町内の農協合併の際に、下川崎農協の松川町地区内の組合員251名と職員6名を松川町農協に分割統合し、法人としての下川崎村農協は安達町内の他農協と合併して安達町農協となった。

(4) 市内 8 J A の合併

福島市内 8 J A が合併して6年 2 月 1 日に J A 新ふくしまが発足することとなった。

4 農協の再建整備

(1) 旧農協の再建整備

旧松川農協は、設立後間もなく始まるドッジラインによる安定恐慌のなかで放漫経営のため極度の経営不振に陥り、供出米代金の不払いや貯払い停止が起き、昭和27年 2 月24日に解散か再建かの臨時総会が大荒れに荒れて開催された。一致して再建に乗り出すことに決定したものの県の再検査を受け、翌年県の指導のもとに町役場・県連合会等の協力を得て指定を受け再建に取り組んだ。

また、水原農協も31年 7 月 1 日に整備特別措置法に基づく指定を受けて再建に取り組んだ。

(2) 更生特別措置の指定

町内 3 農協の合併により経営の強化拡大を図ったが、1000万円を超す欠損金を抱え自力更生が困難となり、合併の翌38年に県独自の

農協更生特別措置要綱に基づく指定を受け再建に取り組んだ。途中、本所の火災等があったが欠損金の解消は長びいたが46年度末においてようやく完全解消した。

5 施設の整備と充実

(1) 低温農業倉庫

合併以後生産基盤の施設の整備と充実に努めその時代時代の組合員のニーズに応じてきた。

最初が米の生産増加に対応した低温農業倉庫の建設であった。残念ながら計画準備がまずく再三にわたり計画変更し、その度ごとに農協運営の混乱を引き起し、44年に竣工した。収容能力2万7000俵である。

(2) 本・支所事務所

40年10月9日失火により本所・金谷川支所事務所と店舗を焼失した。合併間もないことであり合併農協の経営正常化に大きなブレーキとなったが、事務所は農協運営の要であり翌年2月19日の臨時総会で支所事務所と店舗として初の系統施工によって建設され、6月4日に落成式が行われた。

この後、同年年末に水原支所、45年に下川崎支所、49年に水原支所購買店舗、51年に金谷川支所改築、53年に松川支所の各事務所が逐次建築され、さらに時代の要請に合わせて整備改善されている。

(3) Aコープ松川店

61年度まで、金谷川店、水原店、金沢店、下川崎店の4店舗を運営していたが収支は芳しくなく、62年度末に金沢店を閉鎖した。63年、松

川地区内の消費動向を調査し、51か所の座談会開催して、Aコープ松川店の出店を計画し12月17日竣工オープンした。各支所の店舗はサブ店として一体的に運営している。

平成3年には、Aコープ友の会々員の中から利用者代表14名を選び店舗利用者懇談会を発足させ、率直な意見を運営改善に反映させ、組合員および地域消費者の生活の拠点としての役割を果たすべく努めている。

(4) 営農の拠点施設

43年からの農業構造改善事業による水田の基盤整備等の実施を受け、農作業の近代化施設の設置を第2次農業構造改善事業等で49年から順次実施した。

水稻関係では大型トラクター・育苗センター・ライスセンター、養蚕関係では稚蚕共同飼育所・繭集出荷所、野菜関係では予冷库・洗浄機等である。

58年の通常総会において、給油所と果実選果場の取得計画が承認され建設に着手した。

給油所は59年4月21日に旧国道沿いにオープンし、組合員はもとより地域住民のなくてはならない燃料基地となった。また農機整備センターが61年に隣接して建設され、給油所との一体的運営をして好評を博している。

40年代前半からの農業構造改善事業等によって果樹園の造成が精力的に進められ、これらの成木化に伴い共選体制の整備が要求されて、53年に中古の共選機を導入し、さらに59年に近代的果樹共選場を建設した。

平成5年には野菜等集出荷施設を市の補助事業により設置することができ、営農の拠点施設が更に充実した。

6 多彩な文化活動

(1) 農業青年の活動

青年の純朴な活動がその時々の農協運動に大きく作用を及ぼしている。

農青連による41年の米価闘争全国大会欠席問題に対する意見書や、44年の低温倉庫建設に係わる農協運営の正常化と建設促進の要望書提出等はまさに農青連の清潔さと団結の強さの発揮であった。

農業青年クラブによる数々の目ざましい活動があったが、47年夏に行われた伊勢崎市農協のにら栽培の研修が園芸作物導入の突破口となったことは特筆すべきことの一つである。また、不十分な農協の園芸販売事業に活を入れたのは青年有志による「Z組合」である。この組合は農協共販とは別組織であったが、販売実践の中での農協との協議で新しい共販体制が生まれ、以後農協の園芸事業が新展開したのである。

(2) 学習運動

青年クラブの夏季研修がきっかけで51年1月に県農業短期大学の西山泰男の指導助言を得て営農大学が開講した。関係機関始め各種団体等の協力を得て多彩な講師陣をそろえた6日間の企画は誠に好評であった。またこれがきっかけで「わい化栽培研究会」が結成され、りんご栽培の拡大につながるのである。

63年の第26回通常総会に野坂昭如を招き記念講演を開催した。平成元年、2年と3年連続文化人の講演を実施し、組合員のみならず地域の方々の好評を博した。

(3) 各種組織の活動

組合員及び地域住民の多彩なニーズ・嗜好に合わせて農協を利用してもらうためいろいろな取り組みを実施した。

60年に年金受給口座を農協にもつ方々により「年金友の会」が設立された。会員相互に親睦を図るため、積立旅行、ゲートボール大会、菊づくり等年間を通した活動をしている。

レディース定積加入者を会員とした「マイン」の結成と活動。農協ゴルフクラブ「MGC」の発足等の組織化を実施した。

農産物加工場が婦人部の要望により平成元年に設置され、りんごジュース「りんごっ娘」とオリジナル漬物とのギフトセットもできた。

(4) 地域に開かれ地域を拓くJ Aの実践

平成4年に制定された「21世紀を展望する松川町農業・農協の基本戦略構想」のメインテーマである「地域に開かれ地域を拓くJ A」に沿って、J Aをより良く理解してもらうための各種イベント（J Aまつり・ちびっこ夏まつり・書き初め教室・こども農業体験教室・自主カレンダー作成等々）を実施して地域住民とのふれあいを深めている。

7 新たな出発へ

平成4年2月17日福島市J A合併研究会設立、翌5年4月12日福島市J A合併促進協議会設立、10月1日合併予備契約調印、10月23日合併臨時総会、6年2月1日新ふくしま農業協同組合設立。

「地域に開かれ地域を拓くJ A」を築くため汗して実践してきた課題を全福島市を舞台として実践することになった。

Ⅲ 年 表

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
23年		40年	
2.25	松川町農業協同組合創立総会	6. 1	下川崎農協の組合員251名分割加入
5.13	金谷川村農業協同組合創立総会	10. 9	本所事務所店舗全焼
6.21	水原村農業協同組合創立総会	41年	
7. 9	下川崎村農業協同組合設立	2.19	臨時総会（本所事務所建設）
7.19	金谷川村農業協同組合設立	6. 1	松川町が福島市に合併
7.21	水原村農業協同組合設立	6. 4	本所事務所落成
7.22	松川町農業協同組合設立	12.26	水原支所購買店舗落成
26年		42年	
1.29	条例検査（松川）	1.27	政府米30俵盗難事件発生
5.20	条例検査（～22）（松川）	8.15	有線放送公社線接続開通
27年		43年	
2.24	臨時総会（再建整備）（松川）	5.20	共済優績 全共連表彰
.	再建整備の指定を受ける（松川・下川崎）	44年	
30年		10.29	農業者大運動会
3.20	松川町、金谷川村、水原村が合併して松川町となる	12. 4	農業倉庫落成
3.31	下川崎村が松川町に合併	45年	
5.19	下川崎農業協同組合と名称変更	12.23	下川崎支所事務所新築落成
7.21	松川町松川農業協同組合と名称変更	46年	
7.26	松川町水原農業協同組合と名称変更	4.13	育苗センター業務開始（金谷川）
7.30	金谷川農業協同組合と名称変更	47年	
31年		2.29	欠損金解消
7.31	整備特別措置の指定を受ける（水原）	9.12	組合長斎藤松吉 死亡
32年		10.29	農業者大運動会
7. 1	旧下川崎村の一部安達村に分町合併	48年	
33年		3.30	水稻育苗センター完成（松川）
8. 1	旧下川崎村の一部安達村に分町合併		農協だより発行
36年		49年	
9.16	合併促進協議会結成	4.20	第13回通常総会（第2次総合3か年計画設定）
12.25	合併予備契約書締結	11. 8	水原支所事務所新築落成
37年		12.14	臨時総会（有線放送事業廃止）
5. 4	合併臨時総会		町農業振興計画設定される
8.10	県合併認可		もも団地育成事業開始
8.11	松川町松川農協、松川町水原農協、金谷川農協が合併して松川町農業協同組合設立	50年	
38年		3.15	果樹部会発足
1.16	購買店舗落成	12.24	金沢購買店舗落成
.	農協更生特別措置要綱に基づく指定を受ける	51年	
4.18	第1回通常総会	7. 1	米価要求トラクターデモ（町内）
39年		9.15	購買倉庫新築落成
6.12	共済優績 全共連表彰	11.30	金谷川支所くみあいマーケット新築落成
	貯蓄推進ヘリコプター搭乗招待	12.29	金谷川支所事務所改築落成
			花いっぱい運動展開
			営農大学講座開講

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
52年		62年	
4.23	合併15周年記念行事 全農・全共連加入 新生活友の会発足	2. 1	東邦銀行とC D相互利用開始
53年		3.27	農機整備センターオープン
6.30	定期貯金事務電算移行	5.21	共済優績 全共連表彰
12.24	松川支所事務所改築落成 選果機（中古）導入	6. 1	県立医大学病院A T M設置
54年		6. 8	購買業務オンラインスタート りんご学校給食はじまる 農協だよりを「農協まつかわ」に変更
4.28	第17回通常総会（地域農業振興計画設定） 長雨・台風のため穂発芽発生 上位等級 米55%	63年	
55年		2.27	金沢購買店舗閉鎖
4.19	第17回通常総会（協同活動強化第2次3 か年計画設定）	4.26	交通安全教室開講（金谷川小）
4.23	麦作振興ライスセンター落成	12.17	A コープ松川店オープン
5.19	下川崎蕨集出荷所落成	元年	
56年		1.24	臨時総会（県畜連脱退）
9. 7	弘前市農協 りんご団地視察来訪	4. 9	第27回通常総会（農協総合力強化後期3 か年計画設定）
11. 7	第1回農協まつり（～8）	4.13	交通安全教室開講（下川崎小）
57年		12.26	共済友の会設立大会
4.25	合併20周年記念式典	2年	
8.23	信用事業オンライン稼働 わい台研究会 日本農業賞受賞	2.21	園芸事業取扱3億円突破大会
58年		8. 4	A コープ子供盆踊り大会
2. 5	青果物取扱高1億8000万円達成生産者大 会	8.24	年金友の会設立5周年大会
4. 8	第21回通常総会（第3次地域農業振興計 画策定）	11.17	職員OB会設立総会 若妻会 A コープ店頭夕市スタート
8.13	第2土曜日金融窓口休業となる	3年	
59年		4.13	第29回通常総会（地域農業振興計画設定）
2.18	全国農協間為替業務完全オンライン化	5. 1	日計事務オンラインスタート
3.14	全国農協貯金ネットサービス開始	7.25	レディースサークル「マイン」の集い
4.15	ガソリンスタンド新築落成	7. 7	第1回メンズゴルフ大会
4.21	第22回通常総会（経営強化3か年計画策 定）	11.12	A コープ利用者懇談会
4.27	果樹共同選果場新築落成	4年	
60年		2.17	福島市J A 合併研究会設立総会
9. 8	年金友の会発足	4.11	第30回通常総会（J A 21戦略第1期3か 年計画設定）
12.19	水原支所金庫盗難事件発生	8.10	合併30周年記念誌発刊委員会発足
61年		8.23	ちびっこ夏まつり
4.12	第24回通常総会（農協総合力強化3か年 計画設定）	9.12	こども農作業体験教室
6.25	金谷川支所C D設置 土壌分析機導入	10.19	農作業受委託設立会議
		5年	
		3. 6	戦略経営宣言大会及びC I 全体会
		4.12	福島市J A 合併促進協議会設立総会
		5.11	合併30周年記念式典
		5.31	野菜等集出荷施設竣工式
		8.17	チビッコファンタジー（～19）

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
10. 1	合併予備契約調印式	6 年	
10. 7	スタンド改築竣工式	1.24	生産者大会
10.23	合併臨時総会	1.25	J A 松川町30年史発刊
	大凶作 米集荷3302俵	1.31	J A 松川町解散

Ⅳ 資 料

(平成5年度末現在)

1 組 合 員

()は戸数

正 組 合 員		准 組 合 員		合 計	
個 人	法人	個 人	団体	個 人	法・団
1,025 (974)		445 (340)	34	1,470 (1,314)	34

2 役 員 及 び 参 事

代表理事組合長	理事 丹 治 林 作
渡 辺 藤 三	理事 丹 治 儀 賢
理事 長 南 幸 男	理事 寺 島 正 明
理事 佐 藤 弥平治	理事 渡 辺 善 一
理事 丹 治 紀 市	代表監事
理事 鹿 野 正 平	朝 倉 大 三
理事 加 納 幸 作	監事 尾 形 武
理事 加 藤 政 夫	監事 加 藤 松 平
理事 丹 野 太 一	監事 丹 野 一 美
理事 齊 藤 文 郎	参事 菅 野 孝 志
理事 高 橋 守 良	
理事 河 野 武 良	

3 職 員

男	女	計	うち営農 指導員	うち生活 指導員
33	19	52	5	1

4 協 力 組 織

名 称	代 表 者	会 員 数
営農推進員	柴 田 英 夫	66
農青連	加 藤 昌 永	73
婦人部	柴 田 キ ン	464
ひまわり会(若妻会)	大 竹 美 江	49
共済友の会	高 荒 武	128
年金友の会	沼 崎 嘉 一	837

5 生 産 部 会

名 称	代 表 者	会 員 数
きゅうり部会	寺 島 正 明	24
ニラ部会	野 地 敬	68
椎茸部会	熊 坂 邦 雄	15
果樹部会	佐 藤 正 夫	69
いちご部会	大 内 伝	5
和牛部会	田 村 政 雄	35
水稻部会	佐 藤 誠	718
ひかり部会(大根)	立 花 正 清	4
花き部会	丹 野 大 寿	25

6 主 な 施 設

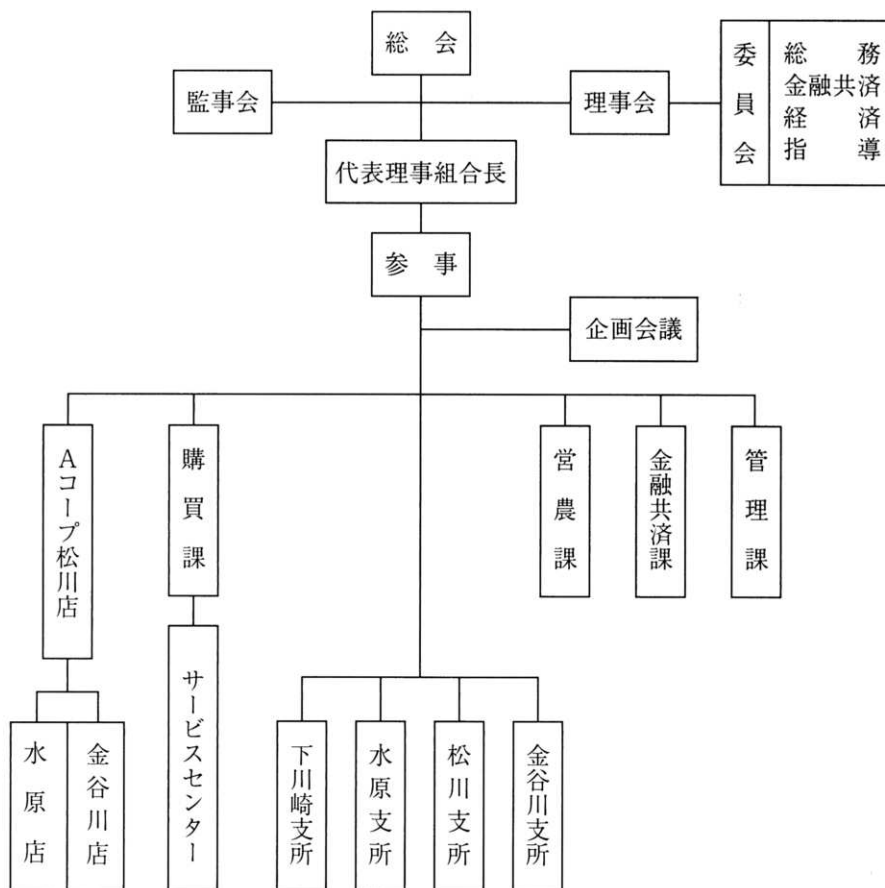
名 称	所 在 地
本所事務所	浅川字神前11
松川支所事務所	中町西裡36-1
水原 〃	水原字政所45-3
下川崎 〃	下川崎字梅田2
購買倉庫	浅川字神前2-3
〃	〃字笠松17-1
〃	中町西裡36-1
Aコープ松川店	字市坂9-1外
マーケット	浅川字神前11
給油所	〃字仲松33
農機整備センター	〃 〃
農業倉庫	〃字笠松17-1
選果場	〃字兎田28-3
野菜等集出荷施設	〃 〃9-6
育苗ハウス	中町西裡19-2
農産物加工場	〃 〃36-1
下川崎繭集荷所	下川崎字下田5-1
倉庫	浅川字神前9-1
〃	下川崎字下田7-3
〃	八丁目5-1
〃	中町西裡36-1
医大ATMコーナー	光ヶ丘1
CDコーナー	浅川字神前11

7 歴代組合長・参事

組 合 長			
37～44	斉藤 勇喜	45～45	(渡辺藤三)
44～44	加藤 寿	45～47	斎藤 松吉
44～45	斎藤 松吉	47～	渡辺 藤三

参 事			
37～43	菊地 秀吉	60～2	遠藤 孝生
44～60	高荒 末吉	2～6	菅野 孝志

8 経営管理機構



9 合併前の歴代組合長

松川町松川農協

23～24	茂木 鶴松	27～27	風間 金吾
24～26	丹治 健蔵	27～33	高橋 吉松
26～27	杉内 励一	33～37	丹治 五郎

松川町水原農協

23～24	佐々木 文助	26～29	佐々木文輔
24～26	茂木弥左右衛門	29～37	茂木 平三

金谷川農協

23～27	菊地 秀雄	33～37	斉藤 勇喜
27～33	長南 長六		